

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	10	渡 辺 ふさ子	<p><b>幼児教育・保育無償化について</b></p> <p>1. 幼児教育・保育無償化に伴う給食費について</p> <p>(1) 副食材料費の実費徴収に伴い、負担増になる世帯数はどのくらいあるか。</p> <p>(2) 副食材料費の滞納があった場合、利用継続の可否等を検討することが求められるが、どのような対応を考えているか。</p> <p>(3) 実費徴収により、保育所に発生する事務負担の軽減への支援策をどのように考えているか。</p> <p>(4) 無償化によって不用となる自治体独自の保育料軽減財源はあるか。あるとすればどのくらいか。</p> <p>(5) 副食材料費の補助をしてはどうか、あるいは無償にしてはどうか。</p> <p>2. 待機児童数を伺う。</p> <p>3. 保育士について</p> <p>(1) 保育士の確保の状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 処遇改善をどのように考えているか伺う。</p>	市長
			<p><b>荒井堤の放流先の側溝整備について</b></p> <p>1. 荒井堤の放流先になっている側溝は、地盤沈下により流れが悪く、よどんでいる。早期の水質改善のためにも、側溝整備を早急に進めるべきではないか。</p> <p>2. 側溝整備の実施時期、予算をどのように考えているか伺う。</p>	市長
			<p><b>平和教育・平和行政について</b></p> <p>1. 学校教育の中で「被爆者の話を聞く会」等を開いて、平和の尊さを児童・生徒に生の声で伝えてはどうか。</p> <p>2. 原爆写真やパネル等を購入し、学校教育に生かしてはどうか。</p> <p>3. 市民図書館のパネル掲示用ボードをもっと増やしてはどうか。</p> <p>4. 市民図書館にプロジェクターと暗幕を設置してはどうか。</p> <p>5. 平和への思いを深めるため、特に8月などに「非核平和岩沼市宣言」の垂れ幕を庁舎に掲げてはどうか。</p> <p>6. 8月の広報に「岩沼市は「非核平和宣言都市」です。(広島原爆の日、長崎原爆の日等に) 黙祷をお願いします。</p>	市長 教育長

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>いします。」と掲載されている。「非核平和岩沼市宣言」の宣言文も市広報に掲載してはどうか。</p> <p>7. 非核平和宣言都市の三角柱が小さく目立たない。文字もかすれてきている。隣の自衛隊の募集看板のサイズは、幅、高さともに2倍を超えている。岩沼市は非核・平和を重視していることをアピールするためにも、もっと大きく美しいものに建て替えてはどうか。</p>	市長 教育長
2	5	佐藤 淳一	<p><b>岩沼市の将来について</b></p> <p>1. 現在の社会的状況と今後の予測について</p> <p>(1) 最新の人口数、世帯数、人口の自然増減数、社会増減数と今後の予測について伺う。</p> <p>(2) 社会資本（特に道路、雨水排水など）の状況と今後の予測について伺う。</p> <p>(3) 市内企業（企業数や従業員数など）の現況と今後の予測について伺う。</p> <p>2. 持続可能なまちづくりの課題と将来像について</p> <p>(1) まちづくりについて</p> <p>① 岩沼市が掲げる持続可能なまちとは、どのようなまちなのか伺う。</p> <p>② 持続可能なまちづくりの課題について伺う。</p> <p>ア 人口数、少子高齢化、地域などに係る課題について伺う。</p> <p>イ 地域経済（企業）に係る課題について伺う。</p> <p>ウ ゲリラ豪雨など、これまで想定されていなかった新たな環境課題への対応について伺う。</p> <p>③ 政府は持続可能な都市・地域づくりを目指す自治体を選定し、予算をつけてサポートしていく取組を行っている。岩沼市も今後予算の獲得を含め、その取組を進めていくべきと考えるが、どうか伺う。</p> <p>3. 今後のまちづくりへの取組について（提案）</p> <p>(1) 仙台空港を核としたまちづくりへの取組について</p> <p>① 仙台国際空港㈱と連携したまちづくりを進めるべきと考えるが、どうか伺う。</p> <p>② 空港の乗降客数は今後も増加していくものと考え、その恩恵を受ける自治体（仙台市など）と空港のゲートウェイである岩沼市が連携して、相互の情報交換・協力への関係強化など</p>	市長

(続)	5	佐藤 淳一	を進めるべきと考えるが、どうか伺う。 (2) 県と連携したまちづくりへの取組について ① 老朽化している県営岩沼亀塚住宅について、住民にとってより利便性の高い場所への移設建て替えを提案していくべきと考えるが、どうか伺う。 ② 県道の延伸や排水対策など、東北の玄関口として必要なインフラの整備を早急に行うように県へ提案すべきと考えるがどうか伺う。 (3) 新たなまちづくりへの取組について ① 仙台東部道路岩沼インター周辺の新産業ゾーンの開発について伺う。 ② 開発が進んでいる矢野目西地区の今後の開発について伺う。	市長
			<b>各種選挙の投票率について</b> 1. 投票率について (1) 投票率について、どのように考えているか伺う。 (2) 投票率低下の要因をどのように捉えているか伺う。 2. 投票率の向上について (1) 投票率向上のための取組について ① これまでの取組について伺う。 ② 今後の取組について伺う。	市長 教育長 選挙管理委員会委員長
3	14	長田 忠広	<b>地域福祉について</b> 1. 岩沼市地域福祉計画については、社会福祉法の改正など策定時と大きく状況が変化していることから、今年度から2年間で見直しをしていることとしているが、見直しの作業はどのように進めていくか伺う。 2. 岩沼市社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画は、今年度改定が行われるが、岩沼市地域福祉計画の見直しに当たって、地域福祉活動計画との整合をどのように図っていくのか伺う。 3. 地域福祉の核となる民生委員は、今年12月に改選を迎える。改選に向けた現在の状況を伺う。 4. 民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手の掘り起こしを目的に、民生委員の活動を補佐する「民生委員協力員制度」の創設を提言したが、どのように検討しているか伺う。 5. 岩沼市社会福祉協議会には、地域福祉推進員制度がある。地域福祉推進員の活動内容は民生委員と同	市長

(続)	1 4	長 田 忠 広	<p>様で、地域の福祉活動を推進する役割を担っている。そこで、民生委員と地域福祉推進員との連携が必要であると思うが、見解を伺う。</p>	
			<p><b>高齢者支援について</b></p> <p>1. 介護予防施策について</p> <p>(1) サロン事業の現況を伺う。</p> <p>(2) 介護支援ボランティアポイント制度の導入について伺う。</p> <p>2. 認知症対策について</p> <p>(1) 認知症地域支援推進委員の取組を伺う。</p> <p>(2) 認知症初期集中支援チームの取組を伺う。</p> <p>3. 高齢者困りごと支援について</p> <p>(1) 平成30年第2回定例会の施政方針であった「高齢者を地域で支える仕組みづくり」の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 高齢者困りごと支援について、今後の展望を伺う。</p>	市 長
			<p><b>防災・減災対策について</b></p> <p>1. 7月7日に実施した総合防災訓練について</p> <p>(1) 防災訓練全体の総括を伺う。</p> <p>(2) 小・中学生の訓練参加について総括を伺う。</p> <p>(3) 防災訓練は市域全域で行うことが大切と思うが、次年度についての見解を伺う。</p>	市 長 教育長
4	1 5	飯 塚 悦 男	<p><b>地域経済の活性化について</b></p> <p>1. 東日本大震災後、水田の大区画ほ場整備を契機に各集落に農事組合法人が設立され地域農業を担っている。法人経営体だけで地域農業が守られるのか、市長の考えを伺う。</p> <p>2. 一般企業の農業参入の条件が緩和された農地法改正から10年が経過した。農家の高齢化や後継不足で耕作放棄地が増える中、有力企業も参入してきているが、このことについて市長の考えを伺う。</p> <p>3. 企業の特例子会社が農業分野に参入すれば、障害者の雇用も確保されるのではないかと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>4. 昨年12月17日、「小農民と農村で働く人々の権利に関する国連宣言」が国連総会で採択された。この宣言の採択に際して日本政府は棄権したが、このことについて市長の見解を伺う。</p> <p>5. 国からの支援は、法人経営体には手厚く、認定農家（いわゆる家族農業）には支援は少ない。この現</p>	市 長

(続)	15	飯塚悦男	<p>状を市長はどのように考えているか伺う。</p> <p>6. 「(仮称) 中小企業振興条例」の策定に向けての進捗状況を伺う。</p> <p>7. 中小企業(商業、農業も含む)では、経営者の高齢化、身内の後継者不足等によって維持、伝承されるべき雇用や技術が途絶えてしまう危機に直面している。対策を講じなければならないと思うが、市長の考えを伺う。</p>	市長
5	8	酒井信幸	<p><b>災害時の避難等について</b></p> <p>1. 令和元年度岩沼市総合防災訓練について</p> <p>(1) 昨年度の訓練と今年度の訓練の違いについて伺う。</p> <p>(2) 子どもたちが参加して行われた訓練では、町内会との連携をどのように行ったのか伺う。</p> <p>(3) 来年度も今年度と同じような訓練を行うのか伺う。</p> <p>2. 指定避難所について</p> <p>(1) 現在の指定避難所数を伺う。</p> <p>(2) 全指定避難所に収容できる人数は、何人になるのか伺う。</p> <p>(3) 全世帯に避難指示が発令された場合、どのように対応するのか伺う。</p> <p>(4) 避難所に指定されている学校の防災機能について伺う。</p> <p>(5) 近年、大雨被害が広範囲に及んでいるが、広域避難についての考えを伺う。</p> <p>(6) 民間施設と連携した避難所指定について伺う。</p> <p>3. 市内の海拔を詳細計測して、地図に落とし込み、浸水域を把握することで避難の指示が素早く行えるようになると思うが、見解を伺う。</p>	市長 教育長
			<p><b>ふれあいパトロール隊について</b></p> <p>1. ふれあいパトロール隊員の募集方法について伺う。</p> <p>2. スクールガード養成講座について伺う。</p> <p>3. ふれあいパトロール隊員との情報交換は、どのように行っているのか伺う。</p> <p>4. 教育委員会と小学校の間で、ふれあいパトロール隊員の情報は共有されているのか伺う。</p> <p>5. ふれあいパトロール隊員には、学校の情報はどの程度提供されているのか伺う。</p> <p>6. 少なくとも学期ごとに情報交換会を開催すべきと思うが、見解を伺う。</p>	市長 教育長

6	1 3	布 田 一 民	<p><b><u>第二期「地方創生」への岩沼市の方向性について</u></b></p> <p>1. 第一期での地方創生総合戦略の検証</p> <p>(1) P D C A サイクル検証内容について伺う。</p> <p>(2) 消滅可能性都市に対して、市としての危機感はないか。</p> <p>2. 第二期の地方創生総合戦略の考え方</p> <p>(1) 新しい技術手法の社会変化の取組の見解を伺う。</p> <p>(2) 新たな人口拡大や交流・関係人口の拡大の見解を伺う。</p> <p>(3) 地域の未来を支える人づくりの見解を伺う。</p>	市 長 教 育 長
7	1 1	佐 藤 一 郎	<p><b><u>浸水対策について</u></b></p> <p>本市においては、過去に8・5、9・22といった大きな水害があったことから、これまで浸水対策を講じてきた。しかしながら、近年はゲリラ豪雨や線状降水帯の多発など大きな気象変化が生じている。そこで、浸水対策について伺う。</p> <p>1. 東部地区の浸水対策として、大型の矢野目排水ポンプ場、二野倉第1排水ポンプ場、名取土地改良区の排水ポンプ場3か所、仙台空港の排水ポンプ場が整備されたが、津波防御として整備されたかさ上げ道路により内水被害の発生の恐れはないか伺う。</p> <p>2. 赤井江に建設されている県の排水ポンプ場の排水能力は、毎秒10tである。大雨時の市との連携はどのように図られるのか伺う。</p> <p>3. 一級河川の五間堀川と合流する志賀沢川（二間堀川）の河川改修工事は、今後どのように行われるのか伺う。</p> <p>4. 五間堀川から阿武隈川への中間排水のため、南長谷地区に計画されている県の排水機場の進捗状況について伺う。</p> <p>5. 平成30年12月定例会において、「二野倉1号雨水幹線を延伸し、里の杜地区の整備を早急に行うための実施設計を進める。」とあったが、進捗状況はどのようなになっているか伺う。</p>	市 長
			<p><b><u>健康対策（がん検診、がん教育等）について</u></b></p> <p>1. がんは早期発見、早期治療が重要であり、がん検診の受診率アップが課題となっている。どのような取組を講じているのか伺う。</p> <p>2. がん対策基本法には、がん教育に関する条文が盛り込まれている。市内小・中学校におけるがん教育</p>	市 長 教 育 長

(続)	1 1	佐藤 一郎	<p>はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(1) 小学校の実施状況とがん教育内容について伺う。</p> <p>(2) 中学校の実施状況とがん教育内容について伺う。</p> <p>3. 2月定例会において、“健幸”先進都市として、人間ドック、脳ドック及び心臓ドックの受診者に対する助成を考えてはどうかとの質問をした。市長から「せっかくの提案なので、少し勉強してみたいと思います。」との答弁があったが、その後検討されたのか伺う。</p>	市長 教育長
8	3	高橋 光孝	<p><b>鳥獣被害（イノシシ）対策について</b></p> <p>1. 現在、岩沼市ではどのような助成を行い、近年の助成利用実績はどの程度あるのか。</p> <p>2. 全国各地で市街地へのイノシシなどの出没が報告されている。岩沼では、市街地にイノシシなどが出没しないような対策は取っているのか。 また、出没した場合は、被害拡大を防ぐため、どのような対策を想定しているのか。</p> <p>3. 小・中学校、公共施設では、どのような対策を取っているのか。</p>	市長 教育長
			<p><b>消防団員の安全について</b></p> <p>1. 消防団は、ホース乾燥などのために火の見やぐらに上ることがある。落下防止のために、フック架け替え時の無ランヤード状態を無くす「ダブルランヤード」でフルハーネス型の落下防止安全帯を配付すべきだと思うがどうか。</p>	
			<p><b>ハナトピア岩沼について</b></p> <p>1. 過去にハナトピア岩沼の水路には水が流れていたが、いつからやめているのか。また、どのような方法で流していたのか。</p> <p>2. 夏場に子どもたちが水遊びをできる噴水を設置してはどうか。</p>	市長
9	1	佐藤 剛太	<p><b>県道岩沼蔵王線について</b></p> <p>1. 志賀姥ヶ懐トンネル開通に伴う周辺地域への対策について</p> <p>(1) 災害に対する対策は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) トンネル内やトンネル周辺地域（志賀地区）に携帯電話の電波が届かない場所がある。通行者の安全のために改善すべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市長

(続)	1	佐藤 剛太	<p>(3) 今後、旧道（市道一の坂線）の管理をどのように行っていくのか伺う。</p> <p>2. 今後の渋滞対策と交通安全対策について伺う。</p> <p>(1) 田中林道について</p> <p>(2) 長岡地区の県道岩沼蔵王線と農免道路交差点について</p> <p>(3) 相の原地区の県道岩沼蔵王線と国道4号線の交差点について</p> <p>3. 地域振興策について</p> <p>(1) トンネルの開通を本市の地域振興や周辺地域の活性化にどのように結び付けていくのか伺う。</p>	市長
			<p><b>金蛇水神社とその周辺のまちづくりについて</b></p> <p>1. 地域振興について</p> <p>(1) 本市の観光の1つのシンボルである金蛇水神社と連携をして、交流人口の拡大や地域振興につなげていくべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. 渋滞対策と周辺道路の安全確保策について</p> <p>(1) 参拝客の増加に伴い周辺道路の渋滞が予想されるが、今後どのような対策を行っていくのか伺う。</p> <p>(2) 周辺道路は、児童生徒の通学路になっている。今後、地域住民の交通安全対策をどのように行っていくのか伺う。</p> <p>3. ハナトピア岩沼の今後について</p> <p>(1) 以前の一般質問でハナトピア岩沼の木造建屋の耐用年数が24年であり、その後土地の買収も検討するとの答弁があったが、今後のハナトピア岩沼の活用について見解を伺う。</p> <p>(2) 今後、参拝客がさらに拡大して、年間50万人以上になると見込まれている金蛇水神社が近隣にあることから、活用方法によっては多くの人が集まる拠点にすべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) ハナトピア岩沼の再整備をPFI事業として民間活力により実施すべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市長
10	4	植田 美枝子	<p><b>移転跡地の活用の現状と今後について</b></p> <p>1. 現状について</p> <p>(1) 全体の面積のうち活用している広さはどれほどか。</p> <p>(2) すでに活用している施設等は何々か。</p> <p>(3) 計画中のパークゴルフ場建設事業の進捗状況はどのようなか。</p>	市長

(続)	4	植 田 美枝子	<p>(4) 計画中の農地貸付事業の進捗状況はどのようか。</p> <p>2. 千年希望の丘について</p> <p>(1) 交流センターの開設以来の訪問者数の年度ごとの推移をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 植樹した樹木の成長をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) 人が目的を持って来る場所にするために、「漂流ポスト」や「風の電話ボックス」のようなものを設置してはどうか。</p>	市 長
			<p><b>子どものケアハウス「あいるーむ」について</b></p> <p>1. 設立の目的は何か。</p> <p>2. 職員はどのように配置されているのか。</p> <p>3. 一人ひとりに寄り添った支援を受けられるところとあるが、具体的にはどういうことか。</p> <p>4. 家庭訪問や送迎といったアウトリーチ型支援はあるのか。</p> <p>5. 小・中学生が対象とあるが、市内全児童・生徒の何パーセントが不登校と捉えているのか。</p> <p>6. 新たな不登校を予防する対策が必要と思うがどうか。</p> <p>7. 小中連携のためにも、個人支援票（サポートブック）を使用してはどうか。</p>	教育長
1 1	9	須 藤 功	<p><b>朝日山公園の今後について</b></p> <p>1. テニスコートについて</p> <p>(1) つぎはぎで凸凹の現状をどう考えるか。</p> <p>(2) 利用者からの苦情（プレーへの支障・怪我の危険性など）は聞こえていたか。</p> <p>(3) 全面的な改修が必要だと思うが、つぎはぎ改修のままで利用料金を引き上げていくのか。</p> <p>(4) 駐車場の確保策として、現駐車場の南側に増設してはどうか。</p> <p>(5) 管理施設（トイレなど）の更新も必要ではないか。</p> <p>(6) t o t oに申請してはどうか。</p> <p>2. 荒井堤の管理方法について</p> <p>(1) 荒井堤の現状については、どのように把握しているか。</p> <p>(2) 年々臭い等がひどくなっていると感じている。どう思うか。</p>	市 長 教育長

(続)	9	須藤 功	<p>(3) ばっ気やしゅんせつなどの対策をしていく考えはあるか。</p> <p>3. 野球場について</p> <p>(1) 岩沼市として自信をもって野球場と呼べるか。</p> <p>(2) 規模は小さく駐車場は狭く、大会があると近隣住民に迷惑が掛かっている。この現状をどう考えるか。</p> <p>(3) 岩沼市は、新たな野球場を他地区に作る必要はないか。</p> <p>(4) 野球場を廃止し、荒井堤の改修のために利用してはどうか。</p> <p>(5) 岩沼には陸上競技場、亶理町や名取市には野球場がある。他市町とスポーツ施設の共同利用をしていくなど、抜本的な競技施設の利用連携を探るべきだと思うが、どう思うか。</p>	市長 教育長
12	17	櫻井 隆	<p><b>学校プールの在り方について</b></p> <p>1. 昨年12月の一般質問に対する答弁のその後の状況について</p> <p>(1) 「今後の学校プールの在り方」の質問に対して、「今のプールを大事に使いながら、どういう方向性があるのか検討し、調査研究していきます」と答弁されたが、その後の検討内容について伺う。</p> <p>(2) 平成27年度の小・中学校におけるプールの維持管理費は「1,198万2,885円」、28年度は「1,355万3,858円」、29年度は「969万4,101円」と答弁された。30年度の維持管理費（改修費含む）を伺う。</p> <p>(3) 昨年の水泳の授業日数は、小学校で平均22.3日、中学校で21.5日、夏休みのプール開放日においては、小学校で平均6.5日、中学校では8.3日開放していると答弁されたが、今年度の状況を伺う。</p> <p>2. 現状において、学校のプールは授業で使用する期間が夏場の約2か月間に限られる反面、多額の建設費や維持管理費が必要となっている。厳しい財政事情を踏まえつつ、子どもたちにとって指導面でのさらなる充実や、よりよい施設環境の下での授業を行うため、民間プール施設の活用を第一選択肢として検討してはどうか。</p> <p>3. 民間プール施設が近隣にない場合は、第2選択肢としてセンター方式化による授業の実施を検討してはどうか。</p>	教育長

(続)	17	櫻井 隆	4. 市内8校のプールで最も新しい西中学校でも32年経過しており、他は40年以上経過している状況の中、今後1校1プールを維持するには、改修・管理の費用負担が大きすぎる。そこで、専門家や保護者等で構成される「(仮称)学校プールの在り方検討委員会」を設置し、今後のプールの在り方についてしっかりと議論するべきと思うが、見解を伺う。	教育長
13	7	布田 恵美	<p><b>さらなる地域防災力の向上について</b></p> <p>1. 全国各地で様々な災害が発生している状況からも、地域の防災・減災力はこれからはますます高めていかなければならない課題である。平成24年に防災士養成についての議会提案を行い、29年から3か年の継続事業で始まった防災士養成研修講座も最終年度を迎えていると聞く。</p> <p>(1) 防災士養成を行ってきた成果を伺う。</p> <p>(2) 防災士の資格認証に当たるNPO法人「日本防災士機構」によると、防災士は地域の防災活動に参加・協力するだけでなく、学校などでの避難所の開設訓練や地図を囲んで災害時の問題点を洗い出して対策を協議する「図上訓練」などを実施する際、自治体から委託されて派遣するケースもあると聞く。岩沼市では、そのような防災士の活用はあったか伺う。</p> <p>(3) 市の事業で防災士資格を取得された方と個人で資格取得をしている防災士との組織「(仮称)岩沼市防災士会」作りを29年第3回定例会の一般質問で提案した。当時の答弁では、「防災士の皆さんのそういった情報共有の場、そして市防災担当との連携の場、そういったものはやはり望ましいというふうに市でも考えておりますので、いろいろ研究させていただきます」とあった。</p> <p>今年2月12日に岩沼市内在住の防災士の研修を開催し、46名の参加があったが、今後どのように進め、発展させていくのか伺う。</p> <p>(4) 地域の防災力向上のためにも、今後も防災士養成は必要と考える。今後の養成計画はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(5) 次世代育成の点から、中学生を対象としての防災士養成助成制度を創設してはどうか伺う。</p>	市長 教育長

(続)	7	布田 恵美	<p><b>投票率向上対策について</b></p> <p>1. 選挙の投票率向上は、市民の意思をまちづくりに反映するためにも喫緊の課題と考える。岩沼市が参議院選挙時から取り入れた若年層のための施策もユニークかつ話題性があり、若年層の投票率向上に成果が見られる。投票立会人、選挙事務に若年層が7名従事したことや、グッズプレゼントや写真撮影スポット設置など岩沼係長を前面に押し出した企画が新聞やインターネット上でも話題になっていた。平成29年の衆議院議員選挙時は10代が34.29%、20代が28.43%、令和元年参議院選挙では10代が38.10%、20代が33.20%と数字にも現れている。</p> <p>(1) 岩沼のみならず、他の自治体においても投票率向上対策には様々な工夫を重ねているところであるが、従来のように“有権者の来場を待つ”投票所から、“有権者が居るところに出向く”投票所という発想の転換が投票率向上につながる考え方もあると思う。ショッピングセンター、岩沼駅前広場に仮設の投票所を設置することも可能ではないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>(2) 投票と地域の商業活性化を連動させて、地域全体での投票率向上への取組も考えてはどうか伺う。</p> <p>(3) 27年第2回定例会の一般質問の中で、18歳選挙権に関連して今後の学校教育の中での政治教育について、どのように取り組んでいくのかを取り上げた際、「政治的な中立を保ちながら、政治に理解を深めるような教育をしてまいりたいと思っております。」という答弁があった。この間、具体的にどのような取組をしてきたか伺う。</p> <p>(4) 投票所内で投票手順などの流れが図示してあるフローチャートがあると、投票所での戸惑い解消につながると思うが、見解を伺う。</p>	市長 教育長 選挙管理委員会委員長
14	2	菊地 忍	<p><b>教育等のICT化の推進について</b></p> <p>1. 新学習指導要領の実施に伴い変わる教育現場。その象徴がICT環境の整備であると考えますが、この教育ICTには、生徒や児童の学習の意欲や質の向上が期待されています。一方、機器の活用には一定の習熟度が求められ、機器の取扱いに慣れていない教育現場では少なからず負担と混乱が生じている実態もあるようです。</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>2</p>	<p>菊地忍</p>	<p>そこで、ICT環境整備について見解を伺います。</p> <p>(1) 岩沼市では、教育現場のICT化はどの程度進んでいるのか伺う。</p> <p>① 中学校生徒へのPC及びタブレットそれぞれの配備台数について伺う。</p> <p>② 小学校児童へのPC及びタブレットそれぞれの配備台数について伺う。</p> <p>③ 教員へのPC及びタブレットそれぞれの配備台数について伺う。</p> <p>(2) グループ学習におけるPC等の活用状況について伺う。</p> <p>(3) ICT環境の整備について、具体的にどのような課題を感じているか伺う。</p> <p>(4) 教育ICTを導入するだけでなく、活用する現場での支援が重要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. ICT化が進む社会情勢の中、行政や議会におけるデジタル化についてどのように考えているのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p><b>RPA導入による市役所業務の効率化について</b></p>			<p>1. 「RPA」とは、「ロボティック・プロセス・オートメーション」の略語で、「デジタルレイバー（仮想的労働者）」や「ソフトウェアロボット」とも呼ばれ、定型的なパソコン操作をロボットが自動化し、事務処理業務の効率を飛躍的に向上させる技術を言います。製品の製造・組立・運搬などブルーカラー業務をサポートする「産業用ロボット」に対し、RPAは、データ入力や情報チェックなどのホワイトカラー業務をサポートするもので、画面上のアプリケーションやシステム画面を自ら識別し、決められた方法に従って、自動的に処理することを特徴としており、近年はAIや機械学習といった高性能な認知技術を用いることによって、より高度な作業を担うケースもあり、技術革新が生産性の向上をもたらす代表的な例として、世界で今もっとも注目されているテクノロジーの1つです。</p> <p>海外ではここ数年、RPAの導入が急速に進んでおり、民間企業はもとより、自治体でも導入事例があるようです。この動きは、深刻な労働人口減少に悩む我が国にも広まり、今年に入って国内の自治体への導入事例が増えています。相対的に事務処理業務が多いとされる自治体は、最もRPA導入による</p>	<p>市長</p>

(続)	2	菊 地 忍	<p>効果が実証される場であり、人口減少や生産性向上という社会課題の解決策としてRPAの導入を実践し、働き方改革をリードしていくことも必要ではないかと考えます。そこで、RPA導入による業務の効率化について伺います。</p> <p>(1) RPAについて、どのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 市では、働き方改革をどのように進めているのか伺う。</p> <p>(3) 各種市税や国民健康保険税賦課のための入力作業や、統計調査入力作業はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(4) 電子化及び自動化により事務の効率化を図ることで職員の負担が軽減されると思われる業務は、どのようなものが考えられるか伺う。</p> <p>(5) RPAを導入することで、職員は本来担うべき「住民とのコミュニケーション」に力を注げることから、住民サービスの向上につながると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(6) 旗振り役となって、RPAを活用した業務革新や地場産業の振興を先導していくことも自治体の役割の1つだと思うが、見解を伺う。</p>	市 長
-----	---	-------	--	-----